

2011年度リエゾンオフィス事業報告

I. 研究支援体制の強化による産学連携活動の活性化

自然科学系・人文社会系共に、研究支援体制の強化を図り、下記事業に取り組んだ。

- ① 自然科学系シーズを活用した産業活性化策の強化
 - 「自然科学系産官学連携研究紹介集」(2010年3月発行分)を各種イベント・会議で配布することにより、積極的に本学教員のシーズを公開・普及させた。
 - 新技術の説明会を計3回(東京2回・大阪)行い、企業との連携を図った。
- ② 人文社会系シーズを活用した地域活性化策の強化および文理融合プロジェクトの促進
 - 「人文社会系産官学連携研究紹介集」(2009年3月第2版発行)を元に、研究成果を積極的に外部に公開した。
 - 文理融合系のシーズについて、ニュースレター等により積極的に外部公開を行った。
 - 各種講演会で人文社会系・文理融合系教員のシーズ発表等を行った。
- ③ 受託研究、共同研究、学術指導、奨学寄付金の受入
- ④ 文部科学省、経済産業省などの公的研究資金の獲得
－新規採択－

【機関名】	【事業名】
JST	研究成果最適展開支援事業 フィージビリティスタディ・ステージ (FS) (探索タイプ、シーズ顕在化タイプ)
	研究成果最適展開支援事業 本格研究開発ステージ (ハイリスク挑戦タイプ)
	戦略的創造研究推進事業 (社会技術研究開発)
	戦略的創造研究推進事業 (先端的低炭素化技術開発) (ALCA)
文部科学省	脳科学研究戦略推進プログラム
	平成23年度「再生医療の実現化プロジェクト 再生医療の実現化ハイウェイ」
	地域産学官連携科学技術振興事業費補助金 イノベーションシステム整備事業 地域イノベーション戦略支援プログラム (国際競争力強化地域)
	「けいはんな学研都市ヘルスケア開発地域」
NEDO	安全・低コスト大規模蓄電システム技術開発／共通基盤研究
厚生労働省	長寿医療研究開発費

－継続採択－

【機関名】	【事業名】
文部科学省	地域産学官連携科学技術振興事業費補助金 イノベーションシステム整備事業 地域イノベーション戦略支援プログラム (グローバル型)「京都環境ナノクラスター」
JST	戦略的創造研究推進事業チーム型研究 (CREST)
	戦略的創造研究推進事業個人型研究 (さきがけ)
	研究成果最適展開支援事業 フィージビリティスタディ・ステージ (FS) (シーズ顕在化タイプ)
NEDO	固体高分子形燃料電池実用化推進技術開発／基盤技術開発／低白金化技術
	太陽光発電システム次世代高性能技術の開発信頼性及び寿命評価技術の開発
環境省	子どもの健康と環境に関する全国調査
厚生労働省	国際医療研究開発費

⑤ 大型プロジェクトの管理・運営

経費について、適切に執行・管理を行い、検査にも対応した。2011年度受入の大型プロジェクトについて、以下に記す。

【機関名】	【事業名】
JST	戦略的創造研究推進事業チーム型研究 (CREST)
	生命医科学部 教授 高橋 智幸 生命医科学部 教授 井原 康夫 理工学部 教授 土屋 和雄
	戦略的創造研究推進事業個人型研究 (さきがけ)
	発達加齢脳研究センター 特定任用研究員 (准教授) 水谷 健一
文部科学省	地域産学官連携科学技術振興事業費補助金 イノベーションシステム整備事業 地域イノベーション戦略支援プログラム (グローバル型) 「京都環境ナノクラスター」
	理工学部 教授 稲葉 稔 理工学部 教授 日高 重助
	平成 23 年度「再生医療の実現化プロジェクト 再生医療の実現化ハイウェイ」
	生命医科学部 助教 奥村 直毅
NEDO	安全・低コスト大規模蓄電システム技術開発／共通基盤研究
	理工学部 教授 稲葉 稔 理工学部 教授 長岡 直人
	固体高分子形燃料電池実用化推進技術開発／基盤技術開発／低白金化技術
	理工学部 教授 稲葉 稔
	基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発／橋渡し促進技術開発
	生命医科学部 教授 井原 康夫

⑥ 寄付教育研究プロジェクトの受入

	【プロジェクト名】
新規	糖化ストレス研究センター
継続	心臓バイオメカニクスリサーチセンター
	炎症・再生医療研究センター
	メディカル・ファジィ・リサーチセンター
	アンチエイジングリサーチセンター
	赤ちゃん学研究センター
	知的照明システム研究センター
	オムロン基金プロジェクト
	京都観学研究会

⑦ 研究補助員や事務補助員の柔軟な配置、産学連携コーディネーターの増員

- 研究支援員制度の新設。
- 産学連携コーディネーター (ライフサイエンス分野) を 1 名増員。

II. 起業支援事業

D-egg を運営している独立行政法人中小企業基盤整備機構との連携を継続しながら、下記の事業に取り組んだ。

① 大学連携型起業家育成施設 (D-egg) の運営

- ▶ 入居率：85%前後を保った。
- ▶ 5周年記念イベント：(独) 中小企業基盤整備機構と共催で開催。
- ▶ 入居者支援：D-egg カフェをスタート。月2回運営し、入居者と外部支援者や大学関係者等との連携強化を計った。
- ▶ PR活動：パンフレットを作新。D-egg 通信発刊やホームページでのPRを積極化し、対外的アピールを強化。
- ▶ 経営支援：販路開拓、営業支援を中心としながら、事業化に向けた経営支援を継続。
- ▶ 地域支援機関との連携：京田辺市、京田辺市商工会、山城振興局、けいはんなと定期的打ち合わせを設定し、連携を更に強化。

② 学生ベンチャークラブ (DVT) の支援

- ▶ 京都商工会議所との連携による起業相談会 (12月2日)
- ▶ 下記の開催、運営 (外部機関と共同、外部資金の活用)
 - ・講演会 (7月9日)
 - ・ビジネスプラン作成講座 (学生対象：基礎・応用講座 計5回 10月13日～11月4日)
 - ・ビジネスプランコンテスト (12月10日)

③ ベンチャーファンドによるベンチャー企業育成支援

ベンチャー育成支援のため、各種ベンチャーファンドを継続的に保持。

④ 社会起業家養成塾開催協力

- ▶ 「社会起業家養成塾」(4月～11月)
地域力再生プラットフォーム事業に採択。
社会起業家を支援する取り組みにて2社を輩出。

Ⅲ. 社会や地域との連携強化

地域に根ざした大学をめざし、社会との連携強化に取り組んだ。

① 産学連携交流会・講演会の企画・運営

【開催日】	【イベント名】
2011年 7月27日	同志社大学・けいはんな産学交流会～産学連携マッチング交流会～
2011年 11月16日	ビジネスフェア in 京たなべ
2012年 1月18日	同志社大学リエゾンフェア

② 外部との連携会議 (定期開催)

【連携機関】	【会議名】
京都府 京都市 京都商工会議所	京都産学公連携機構会議 「京都発未来創造型産業創出連携拠点」推進委員会 「京都発未来創造型産業創出連携拠点」推進委員会実務会議 コーディネータ交流会・研鑽会
近畿経済産業局	産学官連携推進実務者会議
JST イノベーションプラザ京都	JST イノベーションプラザ京都運営委員会
関西文化学術研究都市推進機構	産学公連携推進会議 けいはんなエコシティ推進会議 など

③ 人材育成

京都未来を担う人づくりサポートセンターより研修生 6 名を受け入れ、地域活性化・人文社会系産学連携コーディネーターの育成プログラム（計 3 名）や特許情報の調査・収集・分析を行える人材育成プログラム（計 3 名）を実施した。

IV. 研究成果の社会への還元や知的財産の情報公開

効果的な情報公開を目指すとともに、積極的な研究成果の社会への還元に取り組んだ。

① 出展（研究成果の発信の強化）

- 科学・技術フェスタ in 京都
- やましろサイエンスフェスティバル
- 京都産学公連携フォーラム
- イノベーション・ジャパン 2011
- 〈ナント〉農商工ビジネスフェア（南都銀行）
- ビジネス・エンカレッジ・フェア（池田泉州銀行）
- 京都やましろ元気な企業フェア
- 異業種京都まつり
- けいはんなビジネスメッセ
- ビジネスフェア in 京たなべ
- 京都ビジネス交流フェア
- けいはんな情報通信研究フェア

など、計 39 件に出展。

② 研究にかかわる情報の発信および収集

- ホームページコンテンツの活用
- ニュースレター発行（年 3 回）
- メールマガジン発行（月 1～2 回）
- マスコミへの情報提供（KBS 京都 TV 紹介、各種新聞記事掲載）

③ 東京地区での情報発信、産学連携事業

【開催日】	【イベント名】
2011 年 7 月 28 日	キャンパス・イノベーションセンター東京 新技術説明会
2011 年 9 月 21・22 日	イノベーション・ジャパン 2011
2011 年 10 月 9・10 日	日中大学フェア&フォーラム
2011 年 10 月 11 日	関東・関西 10 私大産学連携フォーラム
2012 年 3 月 16 日	関西 8 私大 新技術説明会

④ 大学間連携によるシンポジウム開催

【開催日】	【イベント名】	【連携大学】
2011 年 7 月 28 日	キャンパス・イノベーションセンター東京 新技術説明会	秋田、山形、千葉、新潟、奈良 先端科学技術、鳥取、岡山理科、 広島、山口、愛媛、高知工科
2011 年 10 月 11 日	関東・関西 10 私大産学連携フォーラム	慶應、東京電機、日本、明治、 早稲田、関西学院、関西、立命 館、中央
2011 年 11 月 7 日	龍谷大学・同志社大学ジョイントセミナー	龍谷
2011 年 11 月 18 日	京都産学公連携フォーラム	京都工芸繊維、京都産業、京都、 京都府立医科、京都府立、立命 館、龍谷
2011 年 11 月 22 日	京阪神地区大学 新技術説明会	京都、大阪、神戸、関西、関西 学院、立命館、京都工芸繊維、 甲南、神戸学院、大阪市立、京

		都府立医科、大阪府立、京都産業、兵庫県立
2012年 1月27日	京都産学公連携機構 「京都発未来創造型産業創出連携拠点」 大学シーズ説明発表会	京都、京都工芸繊維、立命館、 京都産業、京都府立医科、京都 府立、龍谷
2012年 3月16日	関西8私大 新技術説明会	関西学院、関西、甲南、龍谷、 大阪産業、京都産業、近畿

⑤ 学会への情報発信

研究センター主催のシンポジウム等にて情報発信を行ない、新たなルートでの産学連携の可能性を探った。

V. 外部ネットワークとの連携強化

NPO 法人同志社大学産官学連携支援ネットワークとは綿密な連携を図りながら、下記の事業に取り組んだ。

① NPO 法人同志社大学産官学連携支援ネットワーク共同運営事業

- ▶ ビジネスアトリエの開催（6月～1月 計8回実施）
講演者に社会起業家を招き「社会起業家養成塾」と連動。
- ▶ 「社会起業家養成塾」（4月～11月）
地域力再生プラットフォーム事業に採択。
社会起業家を支援する取り組みにて2社を輩出。
- ▶ 京都ブランド活性化事業（通年）
「京あられ・京おかき」「京都産すぐき」「古きよきもの調査」について学生とのプロジェクト形成およびマネジメントを実施し、京都ブランド活性化へ向けた学生目線による提言・提案を行った。
- ▶ 各種セミナーの開催
「産学連携を活用したマネジメントセミナー」（2011年5月18日開催）（共催：株式会社池田泉州銀行）など。

② 同志社校友会大阪支部産官学部会（LCC）、東大阪リエゾンクローバー倶楽部（HLC）との連携 定例会に参加し、双方向の情報共有を密に行った。

VI. その他

① 東京リエゾンオフィスの活用

東京地区での情報発信を積極的に行った（IV③参照）。

② 学研都市キャンパスの活用

動作解析実験室等の管理と推進を行った。

③ クリエイション・コア東大阪の活用

「第8回龍谷大学×同志社大学ジョイントセミナー」（テーマ：「関西における震災リスクとその対応」11月7日）を開催。クリエイション・コア内に大阪府の事務所「MOBIO（ものづくりビジネスセンター大阪）」が開設され、同センターで開催される各種イベントの参加を通じて、産学連携の可能性を探った。

④ 横浜企業経営支援財団との連携強化

平成 23 年度「横浜全国産学広域連携推進会議」に参加し、参加機関との情報交換を行なった。

また、「第 1 回 横浜スマートグリッド シーズ&ニーズ探索研究会」(2011 年 12 月 15 日)に参加し、横浜地区の企業との産学連携の可能性を探った。

⑤ 国際産学連携活動への取り組みに向けた体制連携を検討

国際産学連携活動としては、下記の取組みを行った。

- ▶ 知的財産センターと連携し、海外機関との契約について、調整及び契約締結。
- ▶ 海外公的機関からの研究助成金の受入等。

⑥ 地方公共団体等における政策形成への参画

各地方公共団体への委員の派遣要請、各地方公共団体からの調査依頼等、各地方公共団体からの依頼については、積極的に受け入れた。

以 上